

互いの個性を尊重し、 失敗してもやり直せる学校に



学習院大学教授、
中央教育審議会委員
秋田喜代美



内閣府認定特区高等学校
明蓬館高校 岐阜SNEC3年生
清水陸志



起立性調節障害によって、中学校、高校で不登校を経験した清水さん。通信制という新たな学びの場を得て、自分の人生における「失敗」の意味について考えた経験を踏まえて、これから創りたい社会と教育に望むことを、秋田先生と語り合った。

〈清水さんのこれまでの歩みはP.7で紹介〉

学びの場は、 1つだけではない

清水 私が創りたい社会は、失敗してもやり直せる社会です。私は、起立性調節障害が原因で全日制の高校を退学した時、自分は居場所を失ったと感じました。通信制の高校で再び学ぶことができるようになった私のように、「普通」からはみ出た人でもやり直せる社会を創っていきたいです。

秋田 ご自分の体験を基に、失敗してもやり直せる社会の必要性を語ってくれた清水さんに心から感謝します。近年、コロナ禍などを背景に、不登校の子どもの数が増えています。どの子どもたちも学びを諦めないで済む社会でありたいと私も思います。学びの場は、今通っている学校だけではないですからね。清水さんは今、どんな高校生活を送っているのですか。

清水 今は週4日登校しています。登校時間は体調を見ながら決めていますが、大学入試の準備もあるので、9時

過ぎには学校に着くようにしています。学校に着いたら、先生方と相談しながら、その日の学習内容を決めます。

学年の枠を超えて生徒同士で話し合いながら学ぶ時間もたくさんあります。

秋田 学校は、それぞれの生徒の状態を何よりも尊重し、生徒は、自分の将来を見通して自律的に学びを設計している点が素晴らしいですね。

清水 不登校になった時は本當に落ちたのですが、今は不登校を経験してよかったと考えています。失敗をしたからこそ学べたことがあり、諦めな力が身についたと思います。

秋田 誰もが失敗や挫折をするものだというあたり前のことを踏まえた上で、社会や学校のあり方を私たちは考えなければいけないのだと、清水さんに教えていただいた気がします。

多様な見方や考え方を養える 心理学を学ぶ時間の創設を

清水 ADHD（注意欠如・多動症）

の有病率は報告によって差がありますが、学齢期の小児の3〜7%程度と考えられているのに対して、起立性調節障害の罹患率は中学生で約10%とわかれています。しかし、この病気について知らない人が多く、「怠けだ」といった不適切な言葉を投げかけられている現状があります。この病気に対する認知を広げたいです。

秋田 様々な障害や個性があることを理解し、生徒も教師も互いに支え合う学校が求められていると思います。先生方は多忙なため、様々な障害や個性について学び、理解するまでには時間がかかるのも事実ですから、外部の専門家などと連携して、困っている生徒を支援する仕組みづくりが必要です。

清水 様々な障害や個性があることを理解し合うためにも、義務教育や高校で心理学を学ぶ時間を設けてほしいです。私は病気をきっかけに心理学を学び始めましたが、そのおかげで、自分の不登校の背景には、何でも完璧を目指す思考の癖があることが分かりました。多様なものの見方や考え方を知り、自分自身を客観的に理解することは、他者理解にもつながります。すべての子どもにとって、心理学は生きていくために必要な学びだと思います。

秋田 自分を深く知り、人生をよりよ

撮影場所：清水さんが通う、明蓬館高校
岐阜 SNEC の学習スペース。



失敗しても諦める必要はないし、
失敗の中から学べる大切なこともある！

起立性調節障害についての清水さんの願い

この病気についてもっと知ってもらうことに加えて、

- ① 整体は、この病気の改善に効果的だと言われてい
ます。実際、私も整体によって症状が改善されて、
随分助けられました。しかし現在、整体の施術代
は保険適用外のため、費用の捻出は簡単ではあり
ません。整体施術の保険適用を望みます。
- ② 起立性調節障害の子どもが通いやすい学校を創っ
てほしいと思います。柔軟な登校時間やオンライン
を活用した授業出席が認められることと、整体を校
内で受けられるなどの支えがあるとありがたいです。

いものにする学びは、高校の教科の中
だけにあるわけではないということを示
す好例ですね。心理学は、清水さん
の今後の進路にも影響しそうですか。
清水 はい。既に心理学の民間資格を
取得しましたが、高校卒業後は大学に
進学し、もっと専門的に心理学を学
びたいと考えています。

自分の興味を起点に 教科の学びの意味を知る

清水 私は不登校になる前、塾にも

通って5教科を真面目に勉強していま
したが、その面白さが分かりませんで
した。不登校がきっかけで心理学に出
合いましたが、あのまま学んでいたら、
学びの楽しさに気がつかなかったの
はないかと思っています。

秋田 学びの意味を感じられるような
深い経験が生まれる授業が、特に中学
校や高校で求められていると思いま
す。清水さんは、心理学に興味を持
ち、探究したことがきっかけで、学ぶこと
の意味や楽しさに気づいたことはありませんか。

清水 あります！ ストレスについて
探究している時、唾液アミラーゼの数
値が変化することを知り、生物を学ぶ
意義を感じました。また、心理学を通
じて、答えが1つではない問いを立て、
考えていく力を身につけることの大切
さにも気づきました。

秋田 自分の興味を起点に探究する中
で学びへの姿勢が変わり、視野も広
がったことは、素晴らしいと思います。
高校もそうした学びの場になっていく
ことが大切だと、改めて思いました。
ありがとうございました。